

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第30回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「伊勢湾台風」その二

昭和三十四年九月の「伊勢湾台風」(台風十五号)は未曾有の大災害となりましたが、これに対して政府も民間も、そして国有林も復興に向けた取組を積極的に進めることとなります。名古屋営林局では管内の営林署での木材の公売を一時的に停止して木材価格の高騰防止と災害復旧用材の確保を図る一方で、発生した高潮の対策(決壊した堤防の締切など)のため



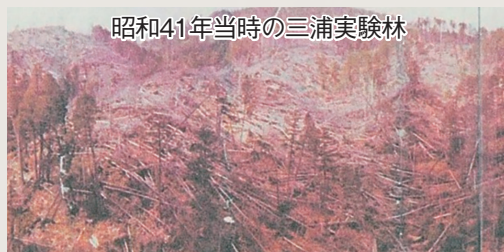
名古屋営林局前に到着したトラックと復旧用材

めの杭用丸太・厚板資材・仮設住宅用材等の確保のために各営林署で緊急生産を行いました。これらの生産・確保には新城、岡崎、岐阜、中津川、下呂の各営林署のほか、長野営林局の岩村田、長野営林署、更には熊本・高知の各営林局からも協力を得ることとなりました。この緊急の生産作業には各地の地域住民・消防団からの協力もいただきました。これらの木材は名古屋市および愛知県に引き渡され、復興に用いられました。

名古屋・長野の各営林局管内で大規模に発



スヶガ谷国有林での復旧用材の緊急生産(現在の岐阜森林管理署管内)



昭和41年当時の三浦実験林



三浦実験林の全貌(写真手前・平成10年撮影)

生した山地崩壊については治山事業所の設置による災害復旧が行われました。風倒木被害についても、被害木の調査と処理に大きな努力が払われることとなりました。特に未曾有では昭和三十六年に襲来した第二室戸台風の被害と合わせて風倒被害跡の更新が重要な課題となり、昭和四十一年に「三浦実験林」が設定され、天然更新技術についての研究が継続的に行われていくこととなります。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。当サイトへは、コードを読み込んでください。

